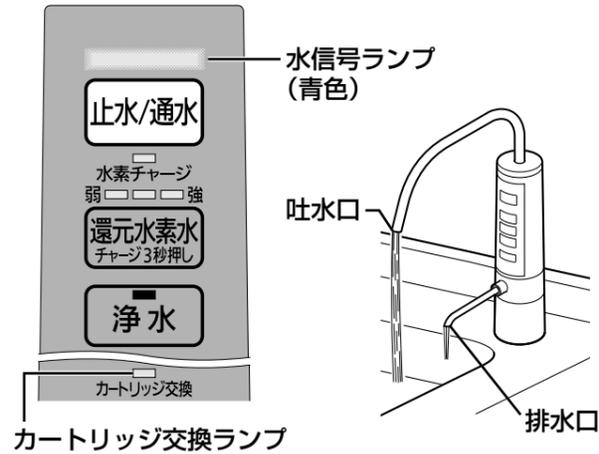


## 6 最終点検 (水漏れ、動作および通水量確認) (つづき)

### 6 止水/通水ボタンを押し、浄水を約10リットル(約5分間)流す (カートリッジ内の空気抜きのため)

チェック



水信号ランプが約20~30秒間点滅後、点灯に変わります。

●水信号ランプが点灯、カートリッジ交換ランプが消灯していることを確認する

チェック

●浄水を流し、水信号ランプ(青色)点灯後、排水口の水が止まっているか確認する

チェック

●還元水素水を流し、排水口から水が出ているか確認する  
●水が出ていないときは、排水ホースが折れていないか確認してください。

チェック

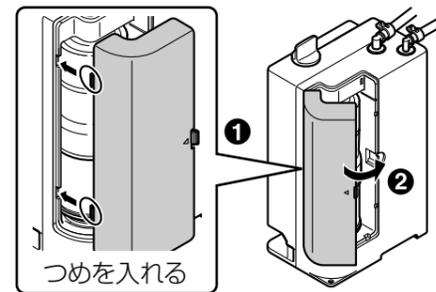
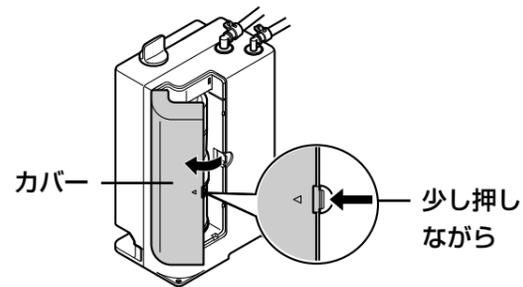
### 7 配管の接続部およびカートリッジ部分から水漏れがないか確認する

- カートリッジからの水漏れは、生成器本体のカバーを開けて確認してください。
- 配管の接続部の水漏れチェックは (15ページ) を確認してください。

チェック

(カバーのはずしかた)

(カバーの取り付けかた)



### 8 通水量の確認を行う (19ページ)

**お願い** ●動作に異常がある場合は、操作パネルコードのコネクターが、確実に接続されているか確認してください。(14ページ)

- お知らせ**
- 止水/通水ボタンを押して水を止めても、吐水口および排水口からポタポタと水が落ちることがありますが、異常ではありません。カートリッジ内の空気が抜けていないと起こりやすくなりますので、最初に浄水を約10リットル(約5分間)流して空気を抜いてください。
  - 弱酸性水を使用した後は、止水/通水ボタンを押しても、約5秒間水が出ます。(生成器本体内の弱酸性水を排水しています。)
  - pH測定については、取扱説明書 (12ページ)

## ⚠ 注意



必ず守る

●最終点検時は、止水栓(逆止弁付)を含む配管接続部全体の水漏れ点検を十分に行う  
(水漏れが起こると、大きな補償問題になるおそれあり)

チェック

### ■通水量確認

下記の手順で、生成器本体への通水量が適正になっているか確認してください。  
適正になっていないときは、止水弁で通水量を調整してください。

### 1 電源プラグをコンセントから抜き、**還元水素水**と**浄水**を同時に押しながら、再度差し込む (ブザーが「ピッピッ」と鳴る)

- 通水量確認モードに設定します。(「浄水」の水質表示ランプが点滅)

### 2 止水/通水ボタンを押して通水し、通水量を確認する

- 通水中は、水信号ランプが青色に点滅します。(通水量が少なすぎる場合は、点滅しません。)

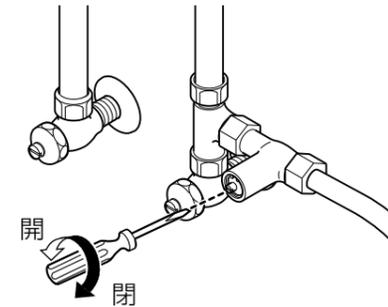


通水量は、「還元水素水」の水質表示ランプとブザー音で確認する

通水量	目安流量	水質表示ランプ	ブザー音
多い	約4.0 L/分 以上	還元水素水「強」点灯	ピーピー…
適正	約2.0~4.0 L/分 未満	還元水素水「中」点灯	ピッピッ…
少ない	約1.2~2.0 L/分 以上	還元水素水「弱」点灯	無音
少なすぎる	約1.2 L/分 未満	還元水素水は点灯しない	無音

- 適正な流量の目安は、通水後約8~15秒間で500 mLたまります。

### 3 通水量が適正でないときは、止水弁で調整する



### 4 電源プラグをコンセントから抜き、操作パネルのランプが完全に消灯し、5秒以上経過してから、再度差し込む (ブザーが「ピッ」と鳴る)

チェック



- 通常使用モードに戻ります。(「浄水」の水質ランプが点灯)

- お願い**
- 設置・点検終了後は、止水していることを確認してください。
  - 点検終了後、シンクに付着した水はふき取ってください。(水あかやシンクの変色などの原因になることがあります。)

- お知らせ**
- 水圧が低い場所では、適正な通水量にならないことがあります。(水圧100 kPa未満) そのときは、カートリッジの交換時期が早くなる場合がありますので、お客様(施主)へご連絡ください。
  - 通水量が少なすぎるときは、電気分解をしません。